

島の暮らしと医療を守るために私たちにできること

(奄美大島 5 市町村共同メッセージ)

本年7月以降、奄美大島で新型コロナウイルス感染症の感染が急激に拡大しております。感染された方に対してお見舞い申し上げますとともに、早期の快復を心からお祈り申し上げます。

急激な感染拡大と、それに伴う検査件数の増加により、開業医を含めた島内の医療提供体制がひっ迫し、既に一般外来診療などにも影響を及ぼしています。これ以上の感染拡大は医療提供や検査受診体制の崩壊を招きかねません。

そのため、奄美大島新型コロナウイルス感染症対策本部では、8月3日付けで「奄美大島コロナ警戒レベル（5段階）」を現行のレベル4から最大のレベル5に引き上げることを決定いたしました。

島の暮らしと医療を守り、社会経済活動を可能な限り維持していく。これまで私たちが培ってきた新型コロナウイルスに対する経験に基づく取組の真価が、今まさに問われています。

【島の暮らしと医療を守るために】

- 軽症の方は極力平日・日中の受診をお願いします。
- 無症状の方の検査目的の受診を控えるなど、医療機関に負荷をかけないご協力をお願いします。
- 帰省などで高齢の親族等と会う場合は、来島前の無料 PCR 検査等の活用にご協力ください。
- 会話をする際のマスク着用や手指消毒、換気など基本的な対策の徹底をお願いします。
- 4回目（または3回目）のワクチン接種のご協力をお願いします。

社会経済活動の維持のため、行動制限を求めるものではありません。さらに感染対策を工夫したり、注意喚起を強化するなどの取組をお願いします。

今回の警戒レベルの引上げは、新型コロナへの警戒を改めて呼びかけ、島の医療提供体制を守るためのものです。通常の暮らしの中で、一人ひとりができることを心がけていただくようお願いいたします。

令和4年8月3日

奄美市長	安田 壮平
大和村長	伊集院 幼
宇検村長	元山 公知
瀬戸内町長	鎌田 愛人
龍郷町長	竹田 泰典